

『営農アンケート』集計結果の説明

～山南地区集計～

1

令和3年2月12日
香南市農林水産課

『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
 - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
 - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
 - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
 - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、ご了承をお願いいたします。

『営農アンケート』の概要

- **目的**：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- **対象**：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- **方法**：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- **使用データ**：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- **件数**：宛先不明等を除いた実質 5,864件 （総数 7,302件）
- **実施**：令和元年12月～令和2年7月
- **回収終了**：令和2年9月23日
- **回収件数**：3,330件 （56.8%）
- **面積**：1520ha （64.4%）

香南市と山南地区の営農アンケート回収状況

5

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む

- 484通送付し返信数は266通であり、返信率55.0%となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、地区全体の61.7%となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

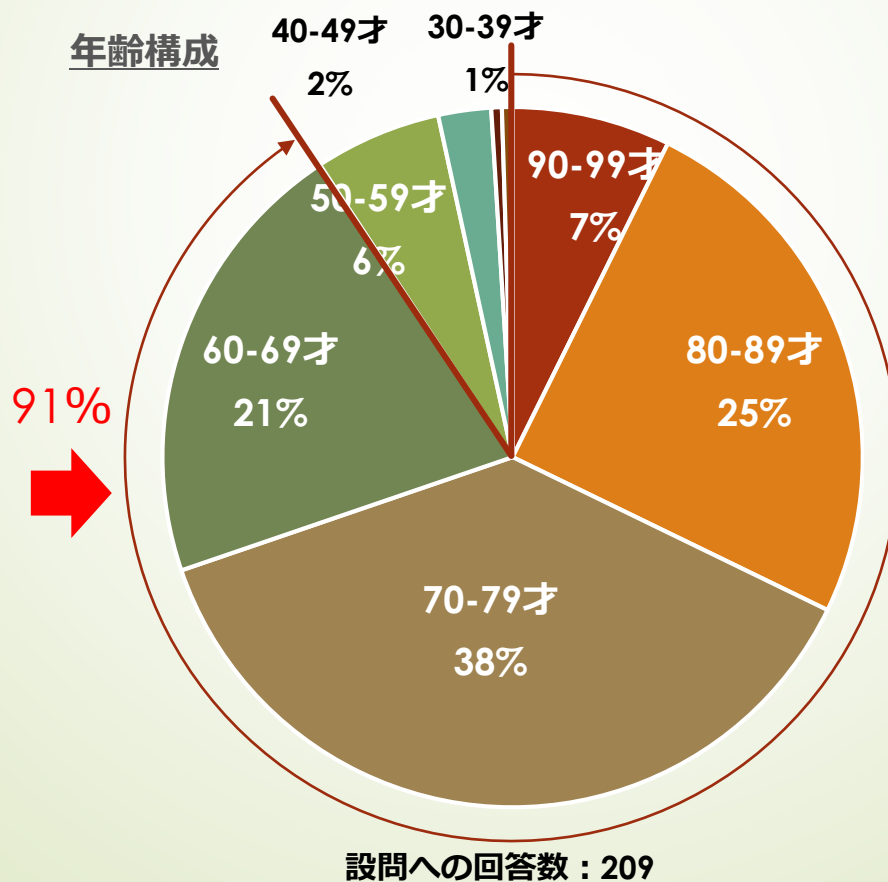
No.	地域	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

アンケート集計 (1)

6

アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の91%は60歳以上の状況である。



アンケート集計 (2)

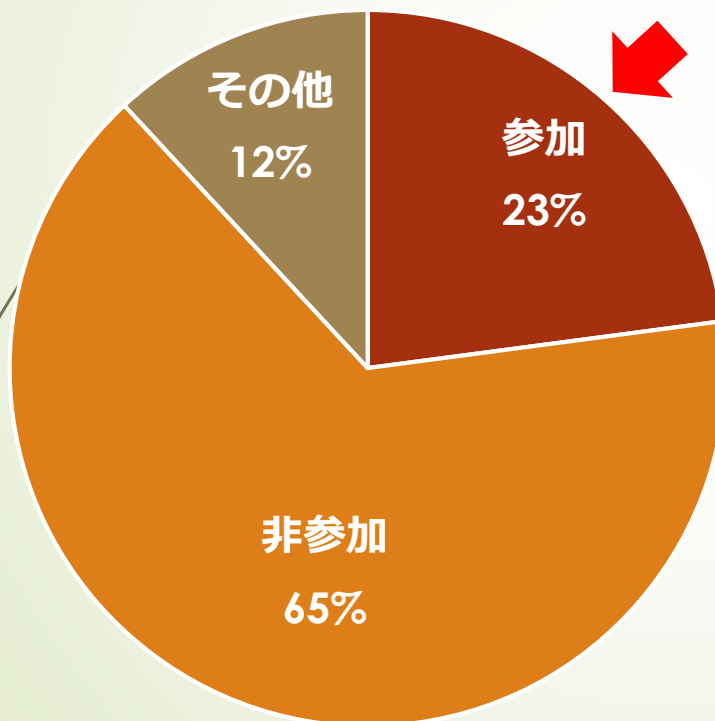
地域会合への参画意向

7

話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の23%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者も、地区会合の内容は知りたいとの意向を持っている。

会合への参加



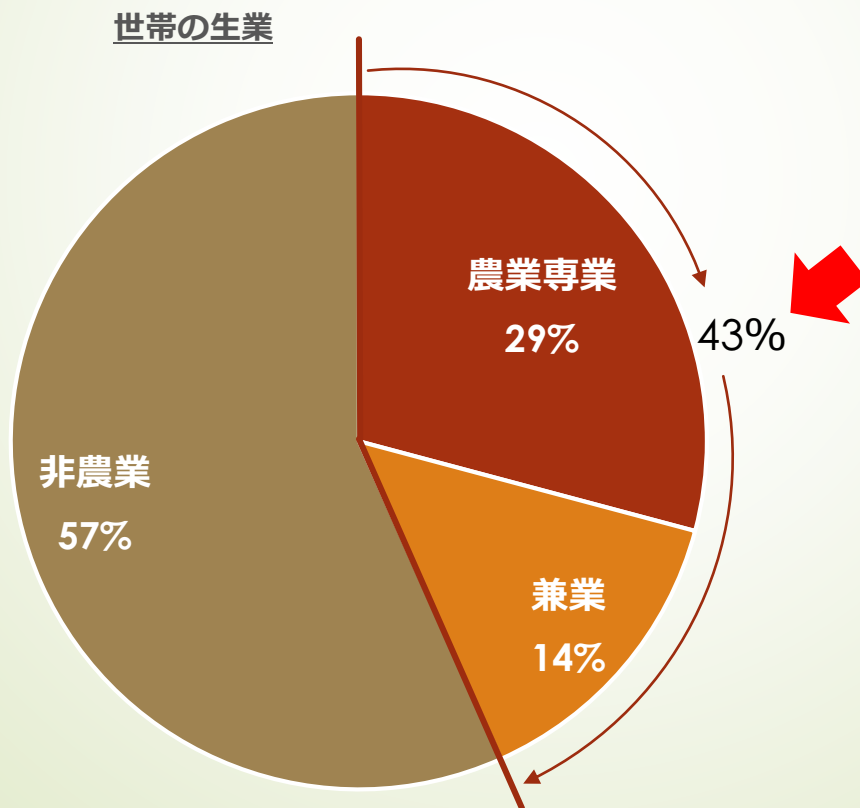
コメント :

- ・土地は家庭菜園位のものなので、(会合の) 必要性を感じない。
- ・(取り組みは) 時節柄大いに結構。
- ・法人化しており、現状でやっていく。
- ・現実的に可能な話なら、参加してもよい。近年、温暖化による大水害などで、安定的な経営ができなくなっている。土地も売りたいと言っている人もいる。

設問への回答者数 : 227

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は43%となっている。
- 農業を営んでいない人は57%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家）



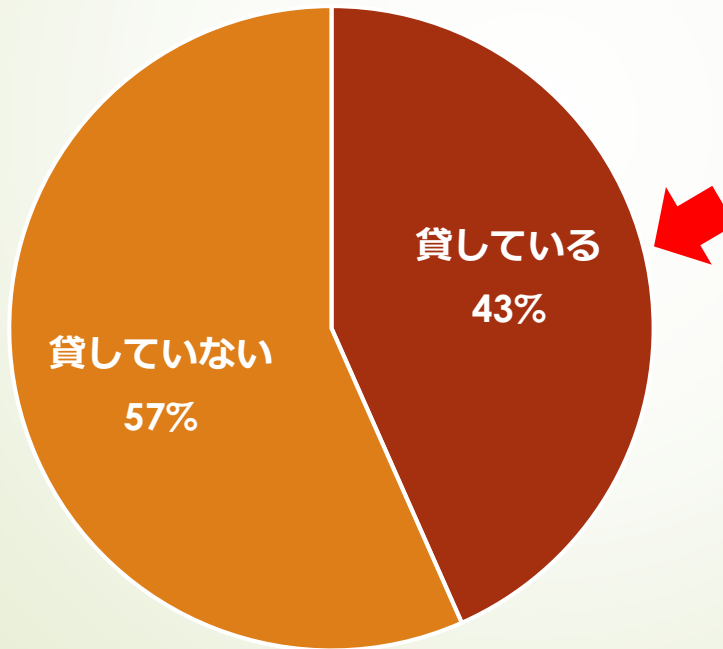
コメント

- ・現在農業以外の職業についており、将来も農業で生計を立てていく予定はありません。

Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 現状で農地所有者の43%は農地を貸している。

農地の現状



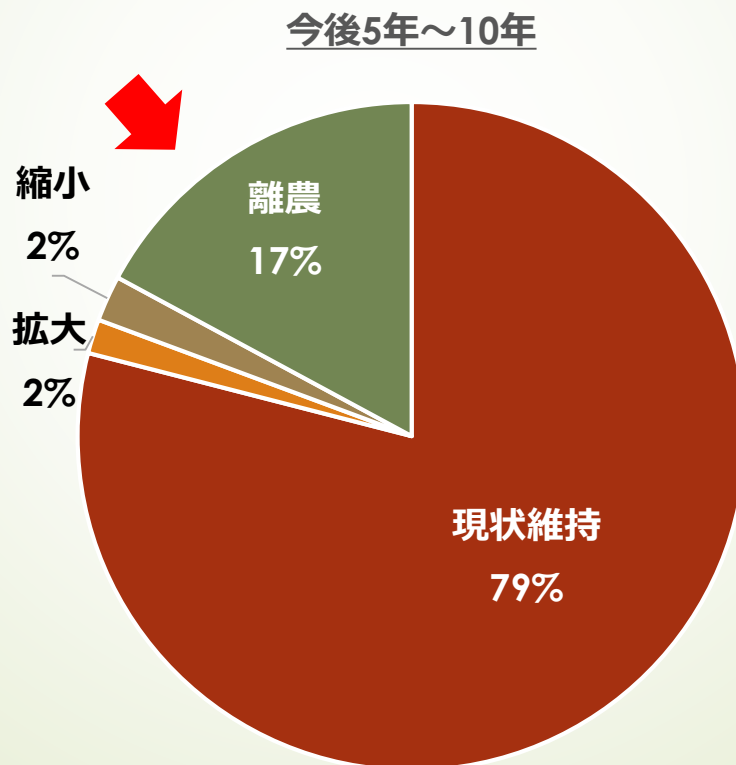
コメント：

- ・自分の農地についても正確に把握していないのが正直なところです。地域の農業が持続していくためになるのなら売ること貸すことには特に異論はありません。

設問への回答者数：249

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

- 今後も現状維持するとの意向が79%あった。
- 一方、農業を辞める、規模縮小する、との回答も併せて19%あった。

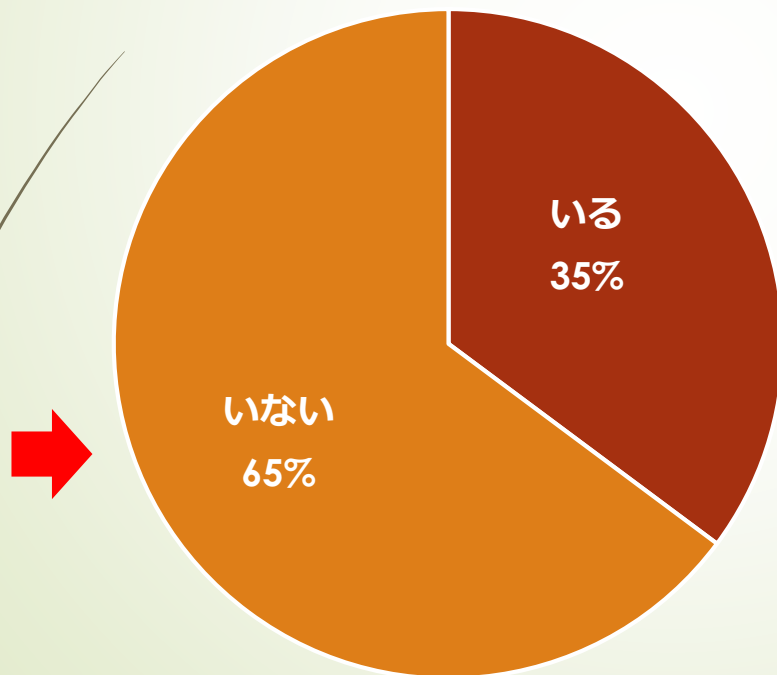


設問への回答数 : 248

Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が65%あった。
- 跡継ぎは居ても農業を継がないあるいは継ぐかどうかは不明であるケースがある。
- 担い手の後継者不在の状況も垣間見える。

農業後継者



コメント：

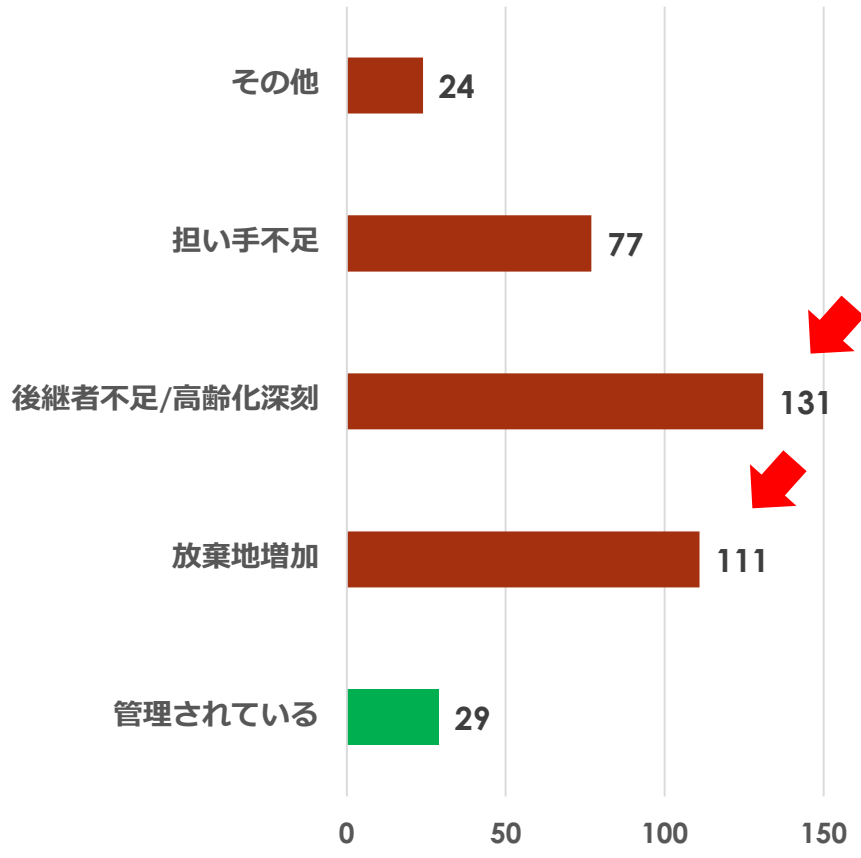
- ・現在地域の担い手の農家も後継者がいない状況になってくる。

12

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 後継者不足や高齢化が深刻であるとの認識が多い。
- 所有者が悩みを抱えている状況も伺える。

地域の農業者/農地の状況



設問への回答数：372

コメント：

- ・分かりません/わからない/よくわからない/不明/わかりません。
- ・遠隔地に居住し、実情わからない。
- ・県外在住なので状況はわからないが、担い手の高齢化が進んでいると思われる。
- ・就職以来茨城県に在住し、その後の両親の死去により相続した土地は、まったく管理できていない状況です。不在地主の為、(現地の)状況を把握できていない。
- ・農地の件で悩んでいます。維持するにも限界がきていますので、もしよい方法があれば、よろしくお願いします。
- ・週末に3日位連泊して実家の維持、畑の管理、雑柑を植えているのでその野良仕事をしている。畑に通ずる赤線の管理が大変です。限界集落になりつつある。
- ・アイデアを話す人やリーダーが居ない。概ね耕作している。
- ・耕作放棄地の回復は不可能な状況。
- ・大切な先祖からの農地と思ってまいりましたが、(この先も)持っていられるものか、わからない状態でもありません。

アンケート集計 (8)

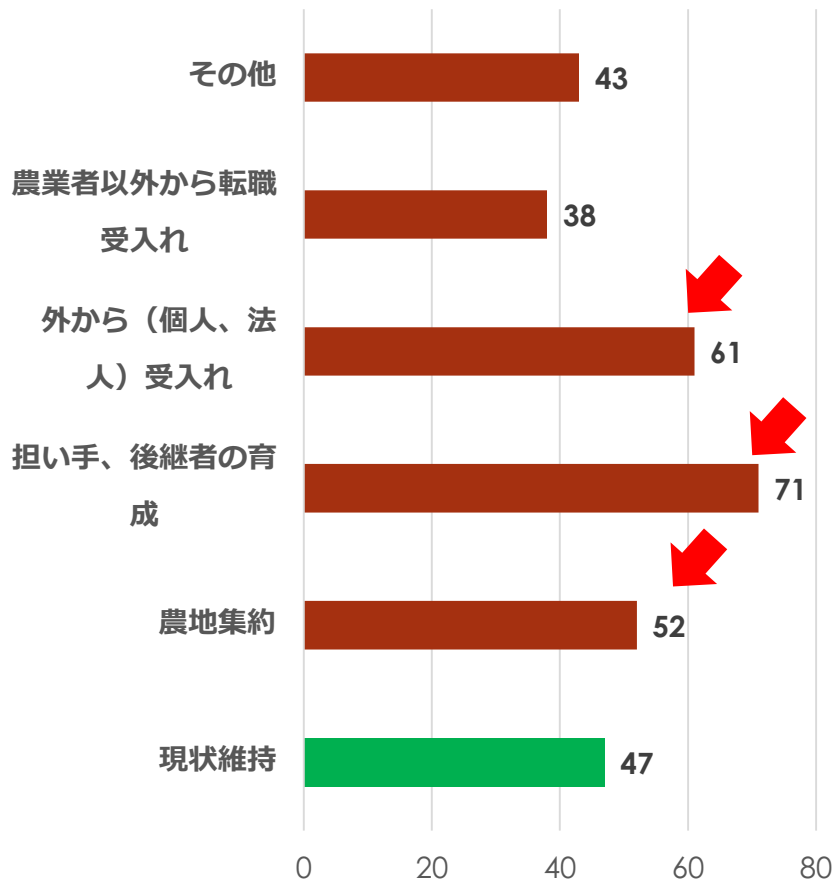
持続可能な農業のために

13

Q6. あなたの地域の農業が5～10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

- 現状で維持できているとの声もあるが、担い手・後継者育成、外の地区からでも個人や法人の受入、集約農業への対応がより多く挙げられている。

持続可能な農業



設問への回答数：312

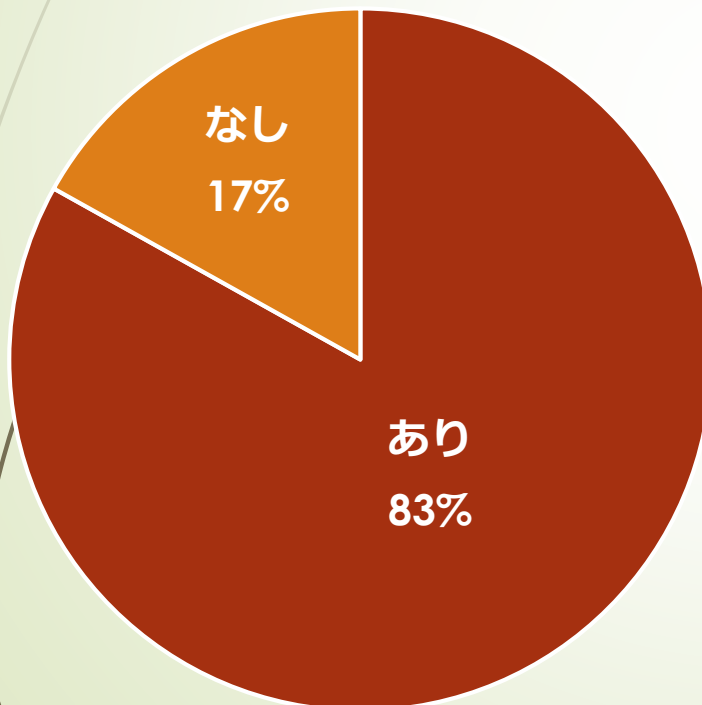
コメント

- ・ わからない/不明/よくわからない/わからない/?
- ・ 私にはわかりませんのでよろしくお願いします。
- ・ この年齢（85）ではもう何もできない。
- ・ **子供たちも農業をする意思はない**であろうし、親戚にもそのような人間は居ない。農業を持続するとしたら、✓した回答のようなことを図るほかないと思う。
- ・ 既存の**農業は人気がなく**、オーガニックやブランド化などで**他地域と差別化**して、年がいても新規就農しやすいようにしたらどうだろう。
- ・ **農業だけで食べていける環境作り**。また**兼業**でもやっていける環境作り。
- ・ 地産地消の農業ができれば良いと思います。
- ・ 現地判断尊重。
- ・ 生産者が販売まで行いたい場合の支援策をつくり、**6次産業**の振興をしてほしい。
- ・ **山田でもできる作物**を推奨してほしい。
- ・ **（農業経営を）持続するのがむづかしい**。
- ・ 獣駆除、山の手入れをして日照確保
- ・ **猪、鹿**が居るため畑を荒らされ、耕作はむづかしい。数を少しでも減らしてほしい。
- ・ 現状の農業経営でガンバル。
- ・ 地域内には後継者が減少しているが、**地域外の借り手**があり、地域全体で受け入れている。また、**交付金**などを利用して耕作放棄地が増えないよう努力している。
- ・ **基盤整備と河川の大改修**をして頂かなければ、この先経営が成り立たないと思います。

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 貸し希望の背景は、農業者が体力的に続けられない状況がある。
- 売却希望の背景には、借地者が高齢、その後継者がいないケース、県外/市外に在住しており耕作地までが遠距離のケースなどがある。

売り貸し候補地



設問への回答数：71

コメント

【貸したい】

- 高齢（病気）で管理不能
- 農地管理の問題
- 維持管理が大変なため
- 貸したいが、売却も考えなければならないと思う。
- 漠然とではあるが（将来）貸すことになると思う。

【売りたい貸したい】

- 高齢になり作業をするものが居ない。売りが貸しかは条件による。
- 高齢になり維持管理が難しい。
- 水路が無く水が不便。維持管理が大変。
- 道路がなく不便、高齢化、20年以上前から放棄
- 県外に住んでいる。農業をすることはない。
- 息子が他で勤務している為、耕作不能。現在高齢の為農業経営はできない。
- 今後後継者も居ないし、売りたいは無いが、借り手が居なくなる可能性もあるので、売却も考えている。
- 経営的には過ぎた面積
- 放置すると他人に迷惑をかける。よいところなので住宅団地等（での利用）はどうか。

【売りたい】

- **高齢（病気）で管理不能**/高齢化のため/高齢化等で維持管理する者が居ない/維持管理が困難
- **高齢で後継者が居ない**
- 本人の高齢化、不在につき売りたい。現在貸し中。
- 管理する者が居なくて困っています。
- 管理できない（ので）処分したい。
- 母と管理し努力もし頑張ってきたけれど、自分も病院通いなので、維持管理できなくなったので、やむをえませんが寄付します。後は香南市に委ねます。
- **永年不在地主で地元の親族に管理**してもらっていたが、その人も死去し、放棄地状態ではないかと懸念している。迷惑のかからないように、また有効に使っていただけるのであれば、おゆずりしたい。
- **遠隔地居住、高齢**。手放したい。
- 耕作者の高齢化により**休耕田**となった。（県農業公社へ売買の登録済）利用権の終了が2023.8なので、それ以降に売却を考えている。

- **水利、農道等不便**。（一度売る様をお願いしましたが不調でした。）
- 売りたいが、**買い手がつかない**
- 10年間の利用権設定中ではありますが、可能であれば売りたい。

■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景概要

16

農業者側の事情

- 高齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要
- 耕作者である借地人も高齢/後継者が居ない

農地を農地として管理できない。

耕作条件

- 小さい農地区画
- インフラ（農道/水路）不備
- 病害（生姜）/使用形態（養殖）

農地としての適性が低い。

稲作の採算

- 米づくりは赤字

農業（稲作）を続けられない。

資産活用

- 生活費の捻出
- 事業の資金の調達
- 貸地としても経費（公租公課、水利）要

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却